

〈3〉台湾の潜水艦と国際協力

公益財団法人笹川平和財団 主任研究員（元海将補） 山本 勝也

「戦車に立ち向かうカマキリに過ぎず、結局は自滅をもたらすものだ。中国人民解放軍（PLA）の太平洋進出を阻止できるなど痴人の夢に過ぎない。民進党当局がいくら兵器を製造・購入しても、祖国統一の勢いを止めることはできないし、PLAの国家主権と領土保全を守る強い決意、確固たる意志、強力な

能力を揺るがすこともできないだろう。」¹

これは、台湾が新しい潜水艦を進水させた当日、記者から問われた中華人民共和国の国防部報道官が答えた言葉である。新しい台湾の潜水艦は果たして中国が言う通りに「螻蛄之斧」²でしかないのだろうか。



國造潛艦_海鯤軍艦下水典禮

進水式（「台湾国際造船公司」より）³

¹ 国防部网「国防部评台湾潜艇下水：不过是螻蛄当车（台湾潜水艦の進水に対する国防部コメント：戦車に立ち向かうカマキリに過ぎない）」、2023年9月28日、http://www.mod.gov.cn/gfbw/xwfy/lxjzh_246940/16278583.html

² 螻蛄之斧：中国春秋時代の故事成語。「力のない弱者が、自分の力量を顧みずに挑むこと」を意味するが、現代では、「勝ち目のない挑戦でも決して下がることなく立ち向かう」といった肯定的な意味でも使われる場合がある。

³ 台湾国際造船「認識台船（台湾造船とは）」、<https://www.csbcnet.com.tw/About/About/About.htm>。

総統選挙を目前に控えた進水式

台湾初となる国産潜水艦（台湾では「潜艦国造（潜水艦国産）」と呼んでいる）の進水式が2023年9月28日に、台湾南部の高雄において、蔡英文総統臨席の下に行われたことが華々しく台湾内外にアピールされた。

進水式を迎えた潜水艦は「海鯤（711）」と命名された。台湾海軍ではこれまでも「海龍」「海虎」「海獅」「海豹」というように、「海＋生物名」といったスタイルで潜水艦は命名されている。

海軍司令部の報道によれば、「海鯤（narwhal）」とは中国古代の想像上の動物で北方の大海にすみ巨大魚あるいは、北極海あたりに生息し、ユニコーンを想像させる哺乳類「イッカク」を意味し、台湾初の国産潜水艦であるこの潜水艦が、ステルス性、奇襲性、深海攻撃性という特徴を持つことを象徴しており、「イッカク」が数千マイルを移動する生物であることから、この潜水艦が長距離を移動し、海洋を震撼させ、国家の安全を守ることを意味していると言う。また、艦番号711には、「時代を超越する」「並外れた卓越性」という意味が象徴づけられているらしい⁴。

進水式とは一般的には船体がおおむね完成して水に浮かべることができる状態になった段階で行われるものであり、その後、武器を含む様々な装備が施され、実際に就役して軍艦としての活動ができるようになるまでには様々な性能試験を経る必要があり、就役は2025年とされている。

一般的には、就役前後から、海原に出て「船」として機能するための試験、「軍艦」として機能するための試験、さらには作戦遂行に必要な訓練を経る必要があるため、実際の任務に従事することとなるに2026年から2027年以降となるだろう。

就役までまだ2年

就役までまだ2年近い月日があるにもかかわらず、今回、このように大々的に報道された背景には、進水の翌年早々に迫った総統選挙を意識したものであることが容易に想像できる⁵。習近平中国共産党総書記が中国の国家主席として第3期を迎え、台湾周辺海空域における人民解放軍の軍艦や軍用機の活動がますます活発かつ攻勢的になる中、進水式の直前に、台湾国防部から公表された「国防報告書」⁶が公表され、その直前には市民防衛訓練を含む年に一度の大規模演習「漢光・万安演習」⁷が行われるなど、台湾の防衛努力についての国民に対する台湾政府の強い意志表明の一環であったと言えるだろう。

またそれは、ロシアによるウクライナ侵略を目の当たりにした今、台湾が国際社会の支持と支援を得るためには、まず台湾自身の防衛努力が必要であることをあらためて理解したはずであり、進水式に関する積極的な報道は、まさに国際社会に対する台湾の強い意思表示であるとも言えよう。

台湾の新造潜水艦「海鯤」の概要

潜水艦に関する情報はいずれの国家にとっても秘密のレベルが最も高いものであり、当然ながら今回進水した潜水艦「海鯤」に関する詳細も公表されてはいない。

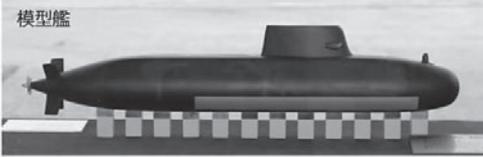
しかし、報道等の資料によれば、全長約70メートル、全幅約8メートル、排水量約2,500トンから3,000トン程度が見込まれており、海上自衛隊の「そうりゅう」型潜水艦に相当する大きさの艦艇であることがイメージできる。

⁴ 台湾国際造船「『潜艦國造原型艦』命名暨下水典禮海軍新聞稿及鄭董事長致詞稿（国産潜水艦1番艦進水式における海軍司令部報道及び鄭台湾造船董事長式辞）」、2023年9月28日、<https://www.csbcnet.com.tw/ActivitiesDetailC004100.aspx?Cond=03c8265d-b304-4465-86f5-a36d39085a32>。

⁵ 本稿の脱稿時点では、既に総統選挙は終わり、与党民進党から立候補した頼清現副総統が、野党である国民党及び民衆党からの立候補者を押さえて次期総統に選出された。一方、同時に行われた立法委員選挙（国会議員選挙に相当）では、国民党が第1党となり、与党民進党は議会第2党に甘んじることとなった。

⁶ 中華民国国防部「112年國防報告書（ROC National Defense Report 2023）」2023年9月。

⁷ 中央廣播電台「漢光演習と万安演習、7/24に実施」、2023年7月11日、<https://jp.rti.org.tw/news/view/id/97375>。

潜艦國造小檔案	
原型艦／自製防禦潛艦 IDS (Indigenous Defense Submarine)	模型艦 
造價	新台幣493億6170萬元
大小	長約70公尺，寬約8公尺，高度（至帆罩頂）約18公尺
排水量	約2500至3000噸（X型尾舵）
武器	6具魚雷發射管、潛射MK48重型魚雷、潛射UGM-84魚叉飛彈
動力	原型艦採柴油動力，後續艦再考量絕氣推進技術
開工日期	2020年11月24日
下水（封殼）日期	預計2023年9月
測試項目	泊港測試（HAT，靜態繫泊等作業）、出海海測（SAT）
交船日期	預計2025年
後續艦	7艘

資料來源：國防部、台船、採訪整理 圖片來源：國防部 

（「中央通訊社」より）⁸

また艦尾の舵の形がXの形状をしたいわゆる「X舵」であることが、「そうりゅう」型以降の海上自衛隊の潜水艦を彷彿させるが、X舵は必ずしも日本独自のものでなく、「そうりゅう」型以前からスウェーデンなど欧州の海軍で広く採用されており、「おやしお」型潜水艦などの垂直舵と水平舵からなる方式に比べて、機動性・冗長性に優れているとされている。

動力は原子力を動力としない潜水艦の中で最も一般的なディーゼル・エレクトリック方式を採用している。なお、この後建造される後続艦には、「そうりゅう」型にも採用されたAIP（非大気依存推進）と呼ばれる、ディーゼル機関の作動に必要な大気中の酸素を取り込むための浮上やシュノーケル航走⁹を必要としない動力による補完も考慮されている。

さらに米ロッキード・マーチン社の戦闘システムを採用するとともに、6門の魚雷発射管を艦首付近に装備しており、潜水艦や水上艦艇をターゲットにする米国製のMk48魚雷（対艦及び対潜水艦攻撃用）

を搭載が予定されている。また後続の建造計画ではUGM-84潜水艦発射型ハーブーン対艦ミサイルを搭載するとも言われており、台湾の周辺海域の特性と対水上艦艇攻撃を重視した潜水艦であることが分かる。

計画ではこの後7隻、合計8隻の建造が計画されている。

「海鯤」級潜水艦が中国にもたらす 軍事的脅威

現在、台湾海軍は4隻の潜水艦を保有している。

老朽化が激しい4隻の現有潜水艦

そのうち2隻、「海獅（791）」及び「海豹（792）」はいずれも1940年代初頭、第二次世界大戦中に米国で建造された潜水艦であり、米海軍において一旦退役したもの、1973年を台湾海軍が取得して再就役さ

⁸ 中央通訊社「國造潛艦海鯤號下水蔡總統：守護國家具體實踐（國產潛水艦海鯤進水、蔡總統が國家防衛の具體的實踐であると）」、2023年9月28日、<https://www.cna.com.tw/news/aip/202309280085.aspx>。

⁹ 浮上航走とは、海上を航走する一般的な船舶と同様に、船体を海面に浮上させて航行すること。

シュノーケル航走とは、大気中の酸素を取り込むために必要な程度までシュノーケルを海面に露出させて、船体そのものは浮上させずに航行すること。